

決算特別委員会（佐藤大委員長）を令和7年10月6日及び7日の2日間開催し、令和6年度決算について詳細な審査を行いました。認定案件4件の審査を行った結果、いずれも認定すべきものと決しました。審議・意見の主なる内容をご紹介します。

### 一般会計（歳入）

**質問** 市税の不納欠損の要因と今後の対応は。

**答弁** 処分額は前年度比16万円減の1897万円余りである。要因として生活保護・困窮・住居所不明等が大半で今後も実態に即した滞納・債権管理に努める。  
**（意見）** 納税意欲を損なわないよう公平性を保ち、十分な調査の上で対処いただきたい。

**質問** 廃校等の遊休施設の賃付方法の見直しを図れないか。

**答弁** 旧校舎は施設管理や防火基準の問題から一体的運用が前提であり、全棟貸しにならざるを得ない。旧末広小

学校は市内企業から貸付の打診があることから市としても積極的に対応していく。

### 一般会計（歳出）

**質問** 指定管理者制度の庁内共通ガイドライン策定及び指定管理者の評価、結果の公表はできないか。

**答弁** 指定管理者の選定については選定委員会で個別に審査している。ガイドラインや評価の公表について今後、検討していく。

**質問** 鹿角キャンパス構想について、卒業生との連携等事業の磨き上げをできないか。また、事業報告会に市民参加を促すための方策や周知方法は。

**答弁** 今後の事業継続に向け、地域・大学双方に利益が得られる仕組みの構築について追求していく。取り組みの中で武蔵野大学の学生にも鹿角家U25の取り組みに参加いただいたり、関係人口としてつながりを持つことができている。報告会で周知、報告書はホームページで公開してい

るが、市民が参加しやすい時間帯での開催も今後検討していく。

**質問** 出会い応援事業へ伝統行事を活用できないか。

**答弁** KPIを設定し、国の承認を得れば、花輪ばやしなどの伝統行事を活用することは可能である。伝統行事の承継と魅力のPR、結婚支援、人口減少対策をKPIとして計画に位置付けはできるが、民間事業に対する出会い創出事業補助金による支援とのすみ分けを検討する必要がある。

**質問** 令和6年度のコンビニ交付の利用実績は。また、今後どのような方法で市民に周知していくのか。

**答弁** 所得課税証明書19・2%、住民票14・6%、印鑑証明15・1%であり、今後ともホームページでの周知に加え、窓口での封筒配布により周知していく。

**質問** 会食サービスクラス委託料の在り方も踏まえた今後の敬老事業をどのように考えているか。

**答弁** 会食サービスクラス委託料は高齢者の交流を目的としているため、今後も継続していく。敬老事業については令和8年度予算編成で統廃合も検討している。

**質問** かつの厚生病院を含む今後の地域医療ビジョンの方向性は。

**答弁** 関係機関や市民等と意見交換を行いながら、実現可能な医療機能について今後2年間の医療ビジョンを示していく。  
**（意見）** 単に財政支援だけでなく、事業効果や市民の望む医療体制の確保が図られるよう、慎重に策定を進めていただきたい。

**質問** 「ナトカリ2・0作戦」について、熱中症対策として血圧降下薬服用の方向けに塩分摂取量の目安を周知できないか。

※KPI（重要業績評価指標）  
 目的達成に向けたプロセスの進捗状況を定量的に評価・分析するための指標のこと。